



社会貢献活動

ロームグループでは「教育」、「文化・交流」、「環境」の3つの分野を中心に社会貢献活動を展開することで、社会の持続的な発展に貢献しています。



教育

ロームの技術を活かし、豊かな人間性と知性を備えた次世代を育成する。



文化・交流

社内外で文化的交流を積極的に行うことにより、地域社会と社内の活性化に努める。



環境

企業市民として、環境の保全を心がけ、自主的かつ積極的に取り組める活動を行う。

災害被災地復興支援活動

「ありがとう本」活動

2012年12月より、公益財団法人信頼資本財団の「ありがとう本」プロジェクトに賛同し、ロームグループとして活動に参加しています。「ありがとう本」は、読まなくなった本、聴かなくなったCDなどを寄付することで社会貢献できるプログラムです。

2014年3月時点で国内ロームグループで合計1万点以上の寄付品が集まり、東日本大震災で被災した子どもたちへの支援の輪が広がっています。



ありがとう本

ありがとう本ロゴマーク



ロームありがとう本キャンペーン

フィリピン台風30号被災地支援活動

2013年11月、フィリピンを通過した台風30号について、幸いにもロームグループの拠点は被害を受けませんでしたが、フィリピン中部では深刻な被害となりました。

ロームグループからはフィリピン赤十字社に対し1,000万円の義援金を寄付するとともに、フィリピンにある4拠点は水、食糧や衣料などの救援物資の寄贈を行いました。



フィリピン赤十字社へ義援金を寄付

被災地支援活動を通じて復興を祈っています

フィリピンの生産拠点では、全社を挙げて台風30号の被災地に対し支援活動を実施しました。

社員2,653名から集まった767,950ペソ(約180万円)を地元基金を通じて寄付するとともに、食糧や衣類などの救援物資を被災者へ送付することで被災地支援に役立てていただきました。

今後も継続して支援することで一刻も早い復興を願っています。

ROHM Electronics
Philippines, Inc.
人事部 セクションチーフ

Antonio
P. Parin, Jr.



国内外の大学との産学共同研究

研究機関、大学、異分野企業と協力

ロームは、文化や社会の進歩向上に貢献できる技術を開発するためには、研究機関や大学、異分野企業と良き関係を築き、協力して取り組む必要があると考えています。

特に産学連携を推進するため、地元京都においては立命館大学、同志社大学、京都大学に「ローム記念館」を寄贈し、包括的な産学共同研究の推進を図っています。

中国・清華大学と包括的産学連携による製品開発を推進

ロームグループでは、アメリカや中国など海外でも産学連携を積極的に進め、先端知の研究や各地のニーズにこたえる製品の開発に取り組んでいます。

2006年には中国の清華大学と包括的産学連携契約を締結。2011年4月には清華大学の創立100周年を機会に、クリーンルームや国際会議場を有する「清華ローム電子工程院」を寄贈・開館しました。

本館7階に共同研究体制の基盤となる「清華ローム共同研究センター」を設立し、従来のインターンシップ受け入れだけでなく、ローム社員が駐在することによって人的交流・異文化理解に基づく技術開発と社会貢献を活性化しています。

現在、本センター組織を基軸に、「光デバイス」、「通信・放送」、「バイオチップ」、「POCT (Point of Care Testing)」、「パワーデバイス&システム」、「センサ&ネットワーク技術利用による社会インフラモニタリング」などの分野において数多くの共同研究プロジェクトが開始され、今後一層の交流成果が期待されています。



清華ローム電子工程院

未来のエンジニアへ向けた活動

世界の高校生が集うJSSFへの参画

Japan Super Science Fair (JSSF) は、立命館高等学校が主催する、地球温暖化や食糧問題など現在の社会が抱えるさまざまな問題を解決するために、世界中から科学を学ぶ高校生が集まり、考えや知識、夢を語り合うフェアです。

ロームは、高校生に対し自社技術についての講座を開催するとともに、ローム本社での企業見学の受け入れを行い、次世代のエンジニアを目指す高校生たちへエールを送りました。



企業見学の様子

NHK大学ロボコン・ABU(アジア・太平洋放送連合)ロボコンへの協賛

ロームでは若きエンジニアを支援するために、さまざまな活動に協賛しています。NHK大学ロボコン・ABU(アジア・太平洋放送連合)ロボコンもそのひとつです。

2013年8月に開催された「ABUアジア・太平洋ロボコン2013ベトナム・ダナン大会」では18カ国の代表が自作の手動・自動ロボット2台を駆使し、対戦形式で課題の達成スピードを競いました。



ABUアジア・太平洋ロボコン2013ベトナム・ダナン大会の様子



文化・交流

音楽文化への貢献

若き音楽家の成長を支援

ロームでは、1965年より幅広い音楽支援活動を展開しています。2000年からは、「若い音楽家を育てたい」という小澤征爾氏の熱い思いに賛同して開始した「小澤征爾音楽塾」公演への協賛も続けており、2013年度は「オペラ・プロジェクトⅫ」を支援しました。



「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトⅫ」公演(撮影:大窪道治)

地域への文化支援活動

ロームシアター京都

2013年7月、京都市とロームは2016年1月に生まれ変わる京都会館のネーミングライツ名称を「ロームシアター京都」に決定しました。現在、再整備中の京都会館はこれまで50年間にわたり京都の文化の殿堂として京都市民の皆様に関与されてきた貴重な文化財産です。

ロームは今後の継続的な文化支援活動として「ロームシアター京都」が社会・地域の皆様に愛され、文化の殿堂として日本を代表する施設となることを願っています。



ロームシアター京都完成予想図(2016年1月開館予定)

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

継続的に音楽文化の普及、発展に寄与することを目的に、1991年に「公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション」を設立しました。

2013年度は63名の奨学生を支援し、新たに国内外の音楽学校で学んだ奨学生によるコンサートを開催しました。これまでの奨学生は累計382名に上ります。

また、国際交流と若手音楽家育成を目的とした「京都・国際音楽学生フェスティバル」の開催や、プロの音楽家を育成するための「音楽セミナー」、音楽に関する公演・研究への助成なども行っています。

(2013年度事業費:約6億6,664万円)

ホームページ(<http://www.rohm.co.jp/rmf>)やブログ(<http://micro.rohm.com/jp/rmf/blog/>)でも支援する若き音楽家の様子や事業内容などを紹介しています。



京都・国際音楽学生フェスティバル2013(撮影:佐々木卓男)



音楽セミナー2013(指揮者クラス)(撮影:佐々木卓男)

クラシック音楽の普及に向けて

社員向けセミナー「ローム楽しくクラシックシリーズ」

2014年3月、ロームにて社員を対象としたクラシック音楽セミナー「ローム楽しくクラシックシリーズ」を開催しました。このセミナーはクラシック音楽に気軽に触れ、その素晴らしさを実感してもらうことを目的に、京都市交響楽団と協同で開催したものです。

今後も、継続的に実施していく予定です。



ローム楽しくクラシックシリーズの様子

ステークホルダーの声

京都市交響楽団 楽団員/ローム ミュージック ファンデーション 1992年度奨学生

ローム ミュージック ファンデーション・1992年度奨学生として、北西ドイツ音楽アカデミー・デトモルト音楽大学に留学させていただきました。留学中はとても充実した学生生活を送ることができたことに感謝いたします。帰国後は京都市交響楽団に入団し、京響の活動を通して京都の音楽文化の発展に寄与できることはこのうえない喜びです。

また2014年3月には「ローム楽しくクラシックシリーズ」にて演奏者として参加し、ローム社員の皆様にクラシック音楽に対しますます興味を持っていただくきっかけ作りをさせていただきました。

今後もクラシック音楽の素晴らしさをたくさんの方々へお伝えしたいと思います。

京都市交響楽団楽団員
首席ファゴット奏者
中野 陽一朗 様



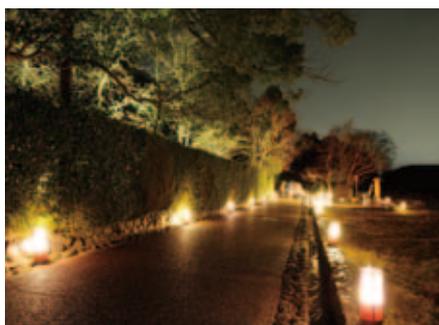
製品を通じた社会貢献

京都・花灯路へLED照明を寄付

京都・花灯路では、露地行灯と道標行灯のすべてにロームの寄贈したLED照明が利用されています。

全国的に節電が求められるなか、開催にあたって省エネや環境配慮が課題となっていました。ロームの高効率LED照明を使用することにより、行灯の消費電力は約1/6に削減されました。

毎年3月・12月の2回、ロームのLED照明が京都の夜を彩っています。



12月/京都・嵐山花灯路(落柿舎前)



3月/京都・東山花灯路(産寧坂)

地域環境への貢献に向けた活動

地域の企業・団体と共同で植林活動を実施

中国・大連の生産会社では、地域企業・団体と協同で植林活動を行いました。200名以上のボランティアが参加し、300本以上の木を植樹しました。

参加者一人ひとりが地球温暖化防止や環境保全対策を考えるよい機会となりました。



植林活動の様子



CSR推進委員会を通じて地域に貢献しています



マレーシアの生産会社ではCSR推進委員会が中心となり、年間計画を立て積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。2013年5月には地域の自治体と協力し、70名以上の社員とともにビーチクリーンアップ活動を実施しました。

この活動は企業や社員としてどのように地域環境に貢献できるか、CSR推進委員会にて審議したうえで実施しました。

これからもこのような活動を通じて、地域環境の更なる貢献に努めたいと思います。

ROHM-Wako Electronics Malaysia Sdn. Bhd.
ダイオード製造部
CSR推進委員会委員長

Mohd Fadhly Abdullah

